

専徳寺報

第454号

令和2年8月1日発行

浄土真宗本願寺派

専徳寺

①

②

〒740-0044 岩国市通津2764

☎0827-38-1124 FAX38-1000

①<http://sentokuji-iwakuni.net/>

専徳寺

検索



②動画ちゃんねる「ひかりといのちきわみなき」

専徳寺納骨堂受付中

【感染予防の対策とお願い】

- ・県外の方は、ご遠慮ください。
- ・マスクの着用をお願いします（マスクの無い方には配布します）。
- ・消毒の準備をしています。入退時の消毒をお願いいたします。
- ・換気を行い、座席の距離を十分に取って座っていただきます。
- ・発熱のある方、体調不良の方はお参りを控えてください。



申込 参加ご希望の方は専徳寺へお電話ください。

☎（0827）38-1124

定員 30名までとします。

持参 念珠、聖典

※帳場はありません。

日時 8月13日 10時～11時半
場所 専徳寺本堂
内容 市内の三名の布教使による法話（一人20分）

【出講者】筑波敬道（柱野・教法寺）

樹木正法（瀬田・浄蓮寺）

弘中満雄（専徳寺住職）

予定していました「歓喜会（盆会）」の法座は、コロナウイルス感染防止のため、休座とします。代わりとして左記の通り、予約制でのお聴聞の機会をもうけます。電話にてお申し込みください。

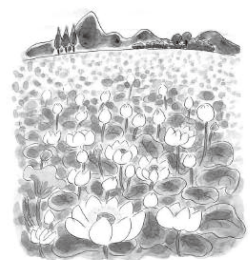
記

御案内（夏の法話会）

コロナ禍も阿弥陀さまとの間隔は
ゼロメートルです！いつもおそばです

呉市 日野 邦子

先立つ方は無言で
私の人生を揺さぶる



お棺の中の人は無言です。沈黙です。でも、全身で私に迫ってくる沈黙です。

ある方は父親の白骨から、「お前は、何のために生きるのか」と、無言の遺言にあり、それがご縁でお聴聞をこころざすようになったそうです。

「何のために生きるか」。そんな人生の大きな問いに、向き合うご縁をくださるのが故人なのです。

またある女流歌人は、幼い三人の子どもを残して旅立たれるとき、こんなうたを残されました。

「遺産なき母が唯一のものとして残しゆく死を

子らようけとれ」

死をご縁として自らが仏法を聞く身となった時、大切な人の死はお金を超えた大きな遺産となります。

「み仏に抱かれて きみ逝きぬ慈悲の国」

み救いを身にかけて 示しますかしこさよ」

（仏教讃歌『み仏に抱かれて』②）

亡き人は「人生の帰依処、本当にたよりになるものであってね」と、生身のからだを投げ出してご催促くださるのです。

（参照 『解説 直枉カレンダー』平成二十一年・八月）

寺内だより

み仏にいだかれて〔葬儀勤修〕



ご恩を偲びました〔法事勤修〕 6月〜7/26

墓地の提供（保津墓園）

【場所】保津町二丁目十四番地（スーパー「ピクロス」隣の団地内）
【面積】三・八四㎡
【費用】四〇万円他。
ご希望の方は、専徳寺までお電話ください。



専徳寺倶楽部夏の集い（7月26日）

おみがきの他、草刈りをお願いしました。境内と内陣、大変美しくなりました。



【参加者（11名）】

上田浩之、小方基史、沖原政裕、北本征夫、白田直則、白田憲光、中崎寛、半田正昭、藤本昭範、森上博之、森田幸一

義捐金のお願い（令和2年7月熊本豪雨）

七月四日そして二十四日と、豪雨の被害にあった熊本県球磨村および人吉市へ義捐金を送ります。八月末までお寺へご持参ください。ご協力よろしくお願いいたします。（物資は集めていません。）



【震災支援を続ける会の九州豪雨被災者支援「生活用品セット提供活動」】

【7月24の球磨村神瀬地区（二度目の床上浸水）】